



診療所を、上甕島の医療拠点とする②指定管理者制度(公設民

海を隔てた合併

実際は①入院施設がある上甕診療所を、上甕島の医療拠点とする②指定管理者制度(公設民

「診療所がなくなるの」「先
生いなくなるらないで」。今年
二月、薩摩川内市里診療所で診
察中、こうした声を、何人もの
患者さんから聞きました。また、
地域の住民からも同様のことを
尋ねられました。

これは、薩摩川内市が甕こ
しき)島における医療体制のあり
方」というパブリックコメン
トを発表し、それを聞いた患者
さんたちが、里診療所が隣の上
甕診療所に統合されてなくなる
と勘違いして出てきた声でし
た。

住民にとって大切な存在

営)を導入し、民間への経営移
譲を目指す一などの内容でし
た。住民の勘違いもありまし
た。里地区は四百四十三件)の
意

見や要望が出されました。里地
区の住民が診療所を大切な存在
と知っていることを知り、ここ
に赴任して、少しは役に立つて
いるかなと感じているところ
です。

里診療所は、甕島列島の上甕
島にあります。二〇〇五年十月
に一市四町四村が合併して、薩
摩川内市になりました。海を隔
てた合併として注目された合併
です。四つの村にはもともと五
つの公立診療所と一つの民間の
医院があり、下甕島には「Dr
コト」のモデルになり有名な
手打診療所もあります。

現在、全国で市町村合併が進
んでいますが、財政面ばかりが
注目されています。医療や福祉
の面では、細かいところまで行
き届いていたサービスが、合併
したとたん大きな自治体のやり
方に統一一されてしまい、サービ
スの低下を招き、「合併しない
ほうが良かった」という声をよ
く聞きます。

地域に溶け込む

私は六歳から八歳まで、父の
仕事の関係で里地区に住んでい
たことがあり、縁あって勤務す
ることになりました。はや五年
目を迎えています。当時のこと
を覚えている人や同級生もい
て、地域に溶け込みやすかった
反面、プレッシャーも感じてい
ましたが、何とか楽しく生活し

行政もデータの数字だけを基
に机上だけで考えず、もっと住
民の目線で現場の状況をよく把
握して、安心して暮らせるよう
知恵を絞っていたらとらと願
っています。

(次回予定は新潟県)

すずき
鈴木

わたる
済 7期生1984年卒



砂州によって形づくられた珍しい「トンボロ地形」の上に広がる
里の集落

鹿児島県薩摩川内市里診療所

【私の勤務地】薩摩半島の西方海上約30kmの甕島
列島の上甕島の薩摩川内市里町(旧里村)にある。
対象人口1400人余りが、ほぼ1つの集落に生活して
いる。診療所は、医師1人、歯科医師1人、看護師
3人、歯科技工士1人、事務4人の無床の診療所。